

全国標準積算資料

(土質調査・地質調査)

令和2年度改訂歩掛版

令和2年9月10日 発行

全国標準積算資料

土質調査・地質調査

令和2年度改訂歩掛版

発行 (社)全国地質調査業協会連合会
定価 8,500円(税別)

■ 全国標準積算資料(土質調査・地質調査)

- ◇ 国土交通省をはじめとする国や地方公共団体、民間会社等において、価格算定の基礎資料として採用されている積算資料
- ◇ 昭和40年初版発行
- ◇ 調査項目ごとの標準歩掛を多数用意するほか、業務条件に応じた標準歩掛の補正係数などを設定

■ 令和2年度改訂歩掛版の主な改訂点

- ◇ 令和2年度改訂歩掛版は、平成30年度版の大改訂を経ての小改訂版の位置づけとなるが、多くの歩掛で見直し変更を実施
- ◇ 標準歩掛の数量や補正係数等の一部見直し
- ◇ 3次元地盤モデルの構築、高貫入力電気式コーン貫入試験、熱中症予防対策費など新規項目の追加
- ◇ 地すべり調査に関する歩掛りの整理・統合、歩掛数量の見直し
- ◇ 積算の簡便化に向けた見直し
- ◇ 積算資料利用者からのご意見を踏まえた各種見直し
- ◇ 主要目次および改訂点は次頁以降を参照

全国標準積算資料（土質調査・地質調査） 主要目次

第Ⅰ編 総則

- 第1章 積算構成
- 第2章 基準人件費
 - 2-1 職種区分（コンサルティング業務、調査業務）
 - 2-2 基準日額の算出方法
- 第3章 主要部品および主要材料
 - 3-1 ボーリング材料
 - 3-2 ボーリング付属品
 - 3-3 ダイヤモンドビットの1m当たり歩掛表
- 第4章 機械経費
 - 4-1 機械等損料
 - 4-2 動力費
- 第5章 諸経費など
 - 5-1 コンサルティング業務
 - 5-2 調査業務
- 第6章 その他
 - 6-1 電子成果品の作成
 - 6-2 調査管理費
 - 6-3 旅費、日当、宿泊費
 - 6-4 運搬

第Ⅱ編 コンサルティング業務

- 第1章 地質調査におけるコンサルティング業務
- 第2章 コンサルティング業務の積算
 - 2-1 地質調査のコンサルティング業務
 - 2-1-1 調査計画の立案業務
 - 2-1-2 打合せ協議、計画準備等の業務
 - 2-1-3 調査の成果品作成等の業務
 - 2-1-4 解析・検討（沈下・安定解析、液状化判定等）
 - 2-2 地すべり調査のコンサルティング業務
 - 2-2-1 標準積算内訳表
 - 2-2-2 計画・準備など（計画・準備、測線設定踏査等）
 - 2-2-3 総合解析（地質解析、機構解析、安定解析等）
 - 2-2-4 三次元解析（三次元総合解析、三次元安定等）
 - 2-2-5 対策工設計（アンカー工、集水井工等）
 - 2-3 地表地質踏査（現地調査、解析、報告書作成等）
 - 2-4 空中写真判読
 - 2-5 試掘横坑調査（現地調査、解析、報告書作成等）
 - 2-6 ボーリングコア調査（現地調査、解析、報告書作成等）
 - 2-7 岩盤せん断試験（現地調査、測定、解析、報告書作成）
 - 2-8 トレンチ調査（現地調査、解析、報告書作成等）
 - 2-9 盛土の動態観測（計画立案、現地踏査等）
 - 2-10 急傾斜地調査（踏査、総合解析、法面工予備設計等）
 - 2-11 道路防災点検業務
 - 2-12 地質リスク調査検討業務
 - 2-13 3次元地盤モデルの構築

第Ⅲ編 調査ボーリング

- 第1章 ボーリング機器
- 第2章 仮設費
 - 2-1 仮設費の積算条件
 - 2-2 小運搬
 - 2-3 足場設置費
 - 2-4 機械据付・撤去費
 - 2-5 給水費
 - 2-6 産業廃棄物処理費
 - 2-7 ボーリング孔閉塞費
 - 2-8 埋設物事前確認および復旧

Ⅲ（第Ⅲ編 つづき）

- 第3章 ボーリング
 - 3-1 土質ボーリング
 - 3-1-1 土質ボーリングの概説
 - 3-1-2 価格算出の条件
 - 3-1-3 土質ボーリング標準歩掛（ノンコアボーリング）
 - 3-1-4 土質ボーリング標準歩掛（オールコアボーリング）
 - 3-1-5 オーガーボーリング標準歩掛
 - 3-2 サンプリング
 - 3-2-1 サンプリングの種類
 - 3-2-2 固定ピストン式シンウォールサンプリングおよびロータリー式二重管サンプリング
 - 3-2-3 ロータリー式三重管サンプリング
 - 3-3 岩盤ボーリング
 - 3-3-1 岩盤ボーリングの分類と工法
 - 3-3-2 岩盤ボーリングの積算について
 - 3-3-3 価格算出の条件
 - 3-3-4 岩盤ボーリング標準歩掛
 - 3-4 高品質ボーリング

第Ⅳ編 探査・計測・試験

- 第1章 物理探査
 - 1-1 屈折法弾性波探査
 - 1-2 浅層反射法探査（反射法地震探査）
 - 1-3 電気探査
 - 1-4 地中レーダ探査
 - 1-5 表面波探査（レイリー波探査）
 - 1-6 1m深地温探査
 - 1-7 常時微動測定
 - 1-8 ジオトモグラフィ
 - 1-9 VSP探査
- 第2章 水文調査
 - 2-1 標準積算内訳表
 - 2-2 計画・準備費（A）、（B）
 - 2-3 現地踏査資料検討費
 - 2-4 観測データ解析費
 - 2-5 水文地質踏査解析費
 - 2-6 総合水文地質解析
 - 2-7 影響予測解析費
 - 2-8 水源の影響判定
 - 2-9 報告書作成費
 - 2-10 水文環境調査費
 - 2-11 水収支調査および水源調査
 - 2-12 水文地質調査費
- 第3章 孔内計測・孔内試験
 - 3-1 主として土質調査で実施される孔内計測・孔内試験
 - 標準貫入試験、孔内水平載荷試験等
 - 3-2 主として岩盤調査で実施される孔内計測・孔内試験
 - 岩盤透水試験、孔内微流速測定等
 - 3-3 地すべり調査で実施される観測
 - 3-3-1 伸縮計（地表）
 - 3-3-2 傾斜計（地表）
 - 3-3-3 パイプ式ひずみ計
 - 3-3-4 挿入式孔内傾斜計
 - 3-3-5 伸縮計（地中）

第Ⅳ編 探査・計測・試験

ⅴ (第Ⅳ編 つづき)

- 3-3-6 水位計
 - 3-3-7 地下水検層
 - 3-3-8 簡易揚水試験
 - 3-3-9 間隙水圧計
 - 3-3-10 ブロックサンプリング
 - 3-3-11 地下水追跡
 - 3-3-12 水質分析
 - 3-3-13 移動杭調査
 - 3-3-14 雨量観測
 - 3-3-15 警報機サイレン
 - 3-3-16 設置観測機器の保守点検
- 3-4 物理検層(PS、電気、温度、音波、密度等)

第4章 原位置での計測・試験

- 4-1 サウンディング
電気式コーン貫入試験、SH型貫入試験、液状化ポテンシャルサウンディング
高貫入力電気式コーン貫入試験等
- 4-2 土石流監視システムの配置計画・設置
- 4-3 主として盛土の動態観測で実施される計測
地表面変位杭、沈下計、層別沈下計
- 4-4 その他の計測・試験
現場密度試験、アンカーのり面の健全性調査等

第Ⅴ編 土壌・地下水汚染調査

第1章 土壌・地下水汚染調査の積算

- 1-1 土壌・地下水汚染調査の積算構成
- 1-2 職種区分
- 1-3 土壌・地下水汚染調査の標準的積算系統

第2章 土壌・地下水汚染調査

- 2-1 地歴調査
資料調査、聴取調査、現地調査等
- 2-2 表土調査(試料採取等)
土壌試料採取、土壌ガス採取等
- 2-3 深度方向調査の計画立案
- 2-4 ボーリング調査(詳細調査を含む)
- 2-5 地下水観測井
- 2-6 ボーリング孔(地下水観測井)閉塞費
- 2-7 公定法分析(化学分析)
- 2-8 地盤解析
- 2-9 考察・報告書作成等
- 2-10 モニタリング

第3章 環境デューデリジェンス(フェイズⅠ調査)

- 3-1 打合せ協議
- 3-2 資料調査
- 3-3 現地調査
- 3-4 聴取調査
- 3-5 考察・報文執筆

第4章 共通仮設

準備費、安全費、補償費、営繕費

第Ⅵ編 海上地質調査

第1章 運搬

- 1-1 機材設備運搬
鋼製櫓運搬費、スパット台船運搬

ⅵ (第Ⅵ編 つづき)

- 1-2 試料運搬
 - 1-3 作業備船料
 - 1-4 作業備船回航費
- ### 第2章 仮設
- 2-1 概説
 - 2-2 海上足場の種類と選択
 - 2-3 海上足場組立解体費
 - 2-4 海上足場の設置・移動および撤収費
 - 2-5 機械組立解体費
 - 2-6 鋼製櫓の製作費

第3章 共通仮設

- 3-1 準備費
- 3-2 安全費
- 3-3 環境保全対策費

第4章 海上地質調査の積算上の留意点

- 4-1 不稼働率と作業能率
- 4-2 海上作業割増し

第Ⅶ編 地盤材料試験

第1章 地盤材料試験(土質試験)

土粒子の密度試験、土の湿潤密度試験A法(寸法測定法)、土の圧密試験、土の一軸圧縮試験、土の三軸圧縮試験、土の繰返し非排水三軸試験(液状化特性)等

第2章 地盤材料試験(岩石試験)

静弾性係数試験、静ポアソン比試験、引張強度試験、超音波伝播速度測定、岩石の三軸圧縮強度試験、せん断強度試験、一軸クリープ試験、AE測定試験等

第Ⅷ編 共通仮設

第1章 準備費

- 1-1 調査打合せ、現地踏査
- 1-2 機材準備、跡片付け
- 1-3 用地交渉
- 1-4 占用許可手続、作業申請手続
- 1-5 測量費

第2章 安全費

- 2-1 保安対策費
- 2-2 交通対策費
- 2-3 環境保全対策費
- 2-4 夜間対策費
- 2-5 雪寒対策費
- 2-6 道路補修費
- 2-7 熱中症予防対策費

第3章 補償費など

- 3-1 踏荒し補償費
- 3-2 立木伐採補償費
- 3-3 漁業補償費
- 3-4 借地料

第4章 営繕費、その他

- 4-1 事務所建設費
- 4-2 火薬類取扱所および火工所設置費
- 4-3 発破孔埋め戻し費
- 4-4 ボーリング孔閉塞費
- 4-5 埋設物事前確認および復旧

購入申込み方法について

購入申込書 送付先
mail : jgca@zenchiren.or.jp
Fax : 03-3518-8876

○メールまたはFAXでのお申込み用紙です。(代金先払い)

下記の口座に代金をお振込の上、必要事項を記入した購入申込書をメールまたはFAXにて送信してください。

振込先：三菱UFJ銀行 本郷支店 普通 1017677 (社) 全国地質調査業協会連合会

※振込手数料は、お客様のご負担をお願いいたします。

※金融機関が発行するお振込控えをもって領収書とかえさせていただきます。

○お届け日数の目安：申込書類到着後、5～10営業日程度

お急ぎの方はWebからお申し込みください。

○その他

全地連会員企業の方へ

最寄りの地区協会が販売窓口となります。地区協会までお問合せの上、お申込みください。

公共機関の方へ

物品等調達方法の事情により、料金先払いが難しい場合は、請求書払い、見積書等の発行に対応いたします。ご希望の場合は、下記の「通信欄」に①後払い希望、②必要な書類と記載内容(提出先宛名、日付など)をご記入の上、お申込みください。

書店の方へ

下記の図書は直販扱いです。卸価格の設定はございません。

書籍購入申込書

■購入図書

書籍名	単価(税込*)	申込数	金額
①全国標準積算資料(土質調査・地質調査) 令和2年度改訂歩掛版	9,350円	冊	円
②報告書作成マニュアル [土質編] 第2版 平成29年3月発行	3,300円	冊	円
発送手数料(書籍の種類・冊数に関わらず一律料金)	600円		600円

*消費税率10%適用

*書籍等の本体価格:書籍①8,500円、書籍②3,000円、発送手数料546円

代金合計(お振込金額)	円
代金振込日	月 日

■申込者(郵送先)

住所	〒		
所属機関名 部署名 担当者名	TEL		
	FAX		

通信欄:

お問合せ先：全国地質調査業協会連合会 事務局 TEL:03-3518-8873 書籍係

電話受付時間：月曜～金曜 10時～17時(祭日・年末年始等の休業期間を除く)